3-4. 辻団地地区

１．地区の概要

（１）位置・人口等

■位置

辻団地地区は、町中央の北部に位置し、町営辻団地を中心に県道益城菊陽線を東の境界線として一帯に市街地が形成され、市街化区域に指定されています。

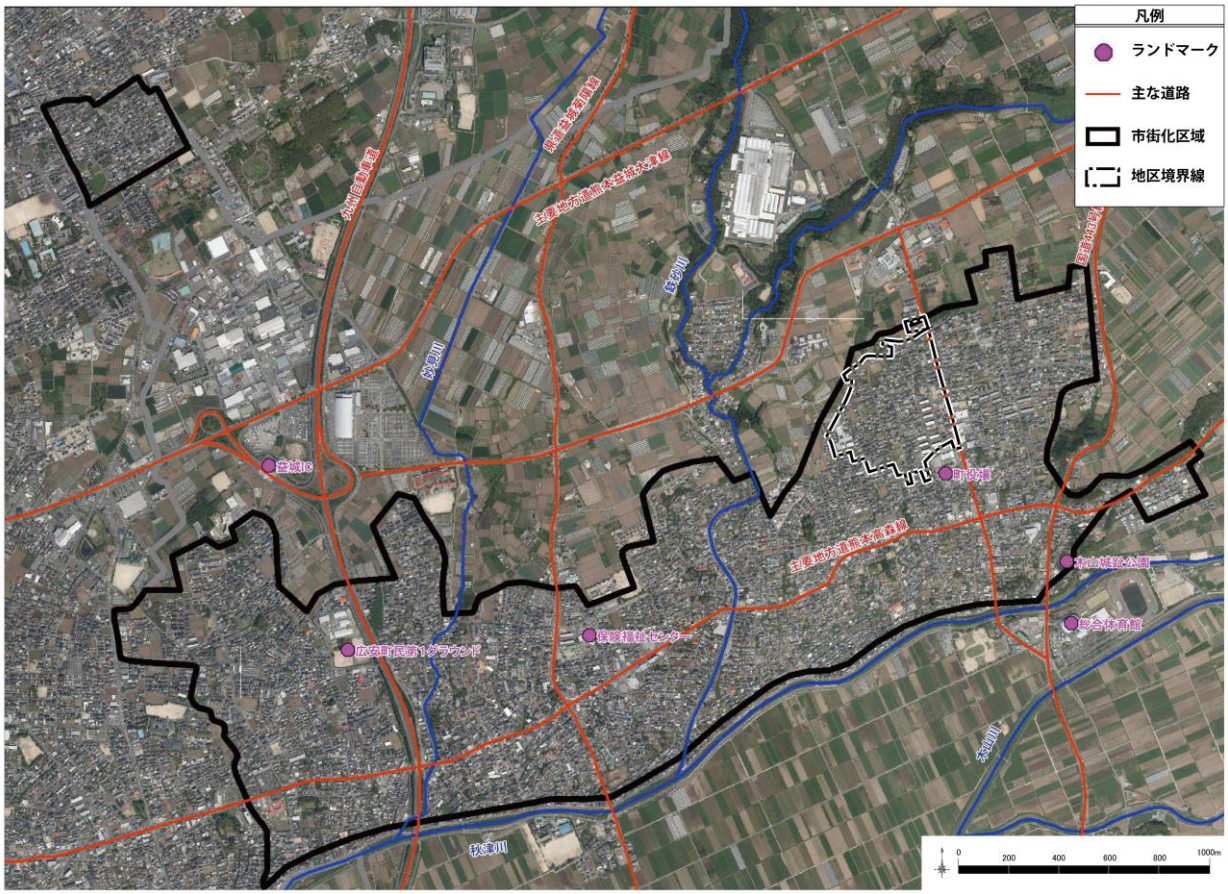

図　辻団地地区

■人口等

平成 29 年 3 月末の住民基本台帳によると、辻団地地区の人口は 1,277 人で、世帯数は 543 世帯となっています。震災直前、平成 28 年 3 月末と比較すると、人口は 148 人、約 1 割減少しています。

表１　辻団地地区の人口

	人口 （平成 29 年 3 月末）	世帯数 （平成 29 年 3 月末）	人口増減 （平成 29 年／28 年）
辻団地地区	1,277 人	543 世帯	△148 人（89.6%）

（２）被害状況

罹災証明による家屋の被災状況によると、全壊が 77 棟（31%）、大規模半壊が 28 棟（11%）となっており、大きな被害を受けました。

表２　被災家屋数（罹災証明より）

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	被害なし
辻団地地区	77 棟（31%）	28 棟（11%）	57 棟（23%）	82 棟（33%）	3 棟（1%）

（３）地区の課題

・震災により人口が約１割減少

・小規模な住宅地開発により形成され、道路が複雑に屈曲している

・地区内道路は幅員４m前後の狭あい道路が多く、緊急車両の進入が困難

２．地区の基本方針

辻団地地区の熊本地震からの復旧復興に向けて、辻団地地区の住民が一体となり、町と協働して『みんなで助け合う、暮らしやすい辻団地』を目指してまちづくりを進めます。

【まちづくりの目標】

『みんなで助け合う、暮らしやすい辻団地』

～近所（近助）でつくる共生社会～

３．避難路・避難地の計画

＜避難路＞

災害に備えた避難路、、また緊急車両の進入などを確保するため、町道の拡幅を整備するとともに、行き止まりとなっている地点の接続、避難歩道を整備します。

＜避難地＞

避難地については、避難地となる公園や空き地の少ない地区の北側において、地区の住民が避難しやすい町道道安寺線に面している空き地に災害時の一時避難場所を整備します。

表　避難路・避難地の整備の概要

路線名等	整備内容		整備の内訳			概算事業費
			延長	幅員	面積	
		拡幅等	（m）	（m）	（㎡）	（千円）
町有道路	地区公共施設（避難路）	新設	150	6		57,300
町道道安寺線（北側）	地区公共施設（避難路）	拡幅	200	6		60,400
町有道路（歩道）	地区公共施設（避難路）	新設	69	3		15,300
一時避難場所	地区公共施設（避難地）	新設			3,950	151,300

辻団地地区【A･B：6m、C：3m（歩道）】

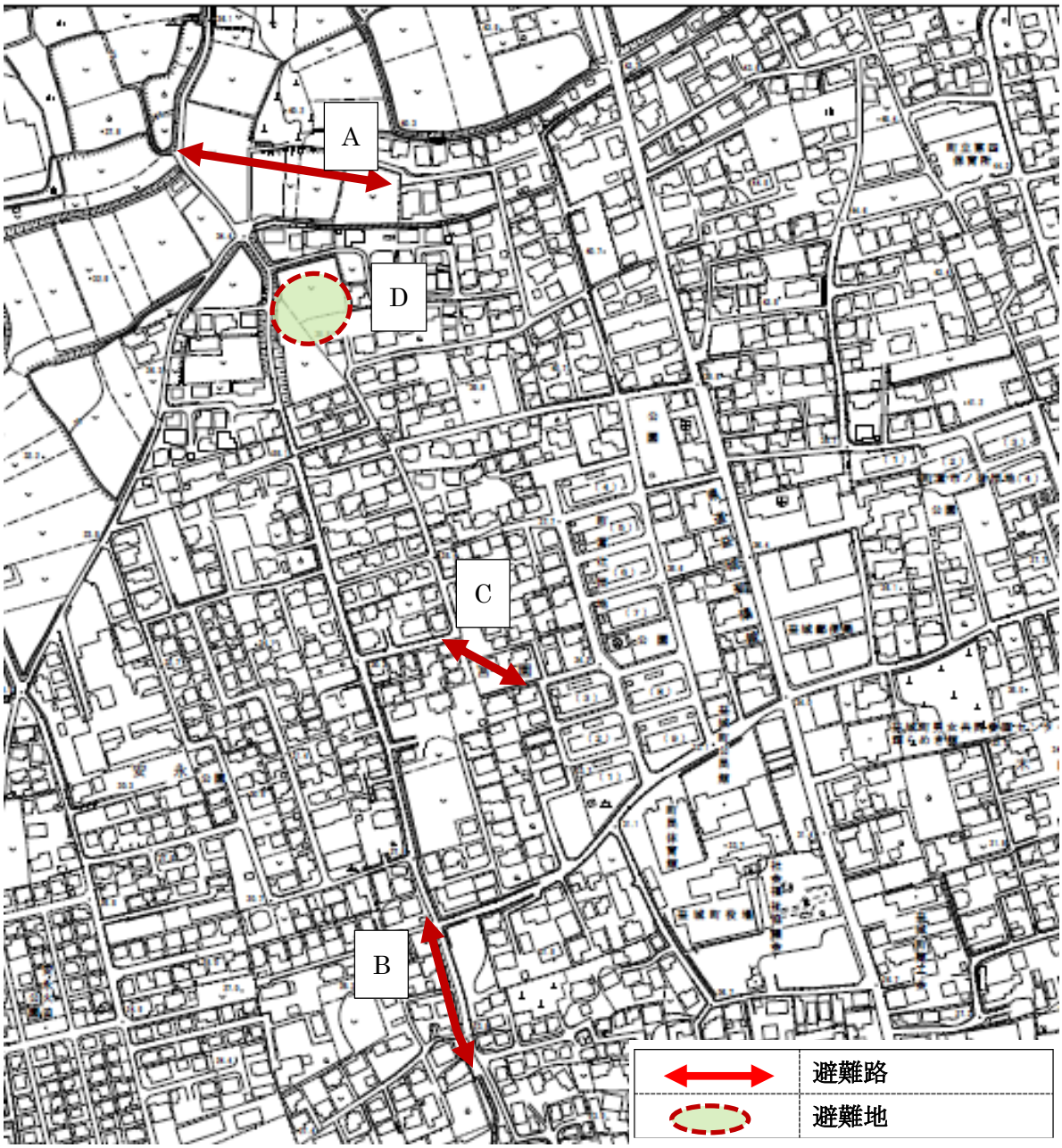

図　避難路・避難地計画図